歩行者・自転車通行量の増加に資する事例

【兵庫県伊丹市　人口：197,267人（令和４年）　計画期間：平成28年４月～令和4年３月】

成　果

【中心市街地における歩行者・自転車通行量】

基準値　35,719人（H26）→ **41,192人**／年(R1)

事業概要

景観条例に基づいたまちなみ形成（重点地区）

自転車駐車場整備

保育園開設

見守りカメラ設置/ビーコン発信機活用

まちなかに設置した見守りカメラがビーコンと連動し、行方不明者捜索等に活用。

【市道中央天津線他電線共同溝整備事業 】

景観・バリアフリー・防災の観点から、電線類を地中化し、ひと中心の安心・安全・快適な歩行空間と自転車通行空間の創出を行い、街並み景観と商業機能と連携したグレードの高い多様な都市空間の魅力を創出する。

【活用した支援措置】

防災・安全交付金（道路事業）

【まちなか大規模イベントの開催・拡充】

中心市街地では、現在、春・秋の宮前まつり、夏のふれあい夏まつり・愛染まつり、冬の蔵まつりなど四季おりおりに大規模なイベントが開催されており、このイベントを他のイベントと合同で実施し、中心市街地のにぎわいへと繋げるため、更なる入込数の増加を図る。

【活用した支援措置】

中心市街地活性化ソフト事業

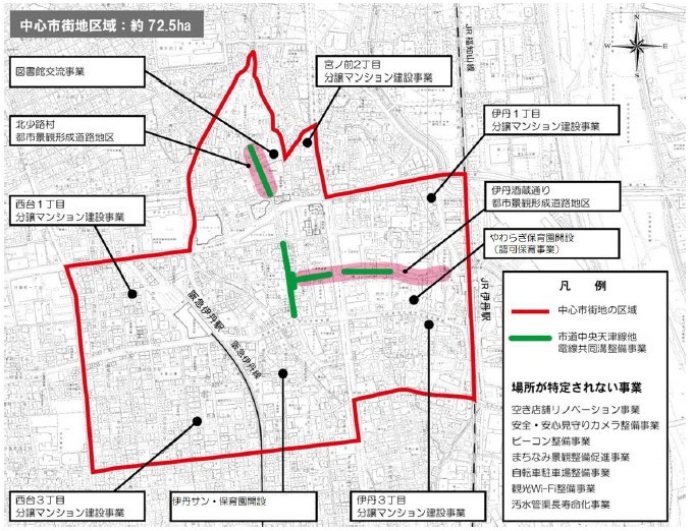
取組のポイント

景観条例に連動し、防災やバリアフリーの観点による街並み整備や防犯カメラの活用事業等を行い、安心なまちなか居住を推進。

四季折々のイベントを他のイベントを継続して開催し、恒常的なにぎわいにつなげた。

・安心安全な都市空間の整備

・民間マンション建設の誘発

【伊丹市概要】 中心市街地区域

約72.5ｈａ